

# <「農泊」推進のための地域アンケート>

## 結果のご報告

平成30年3月

中野方農泊推進協議会  
中野方地域協議会

中野方町の皆さまには、昨年末から年初にかけて実施した標記アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。アンケートの結果がまとまりましたので、その概要をご報告いたします。

なお、詳しい報告書は、「坂折棚田なごみの家」と中野方振興事務所で閲覧することができます。

### [アンケートの実施方法]

- ①アンケートの対象：中野方町に現住されている全世帯
- ②アンケートの方法：一次調査・二次調査の二段階に分けて実施しました。一次調査では、各区班長を通じて中野方町の全世帯にアンケート用紙を配布、回収しました。二次調査では、一次調査で「農泊」事業のための宿泊施設等の提供の意向を示された世帯を対象に、郵便による送付と回収を行いました

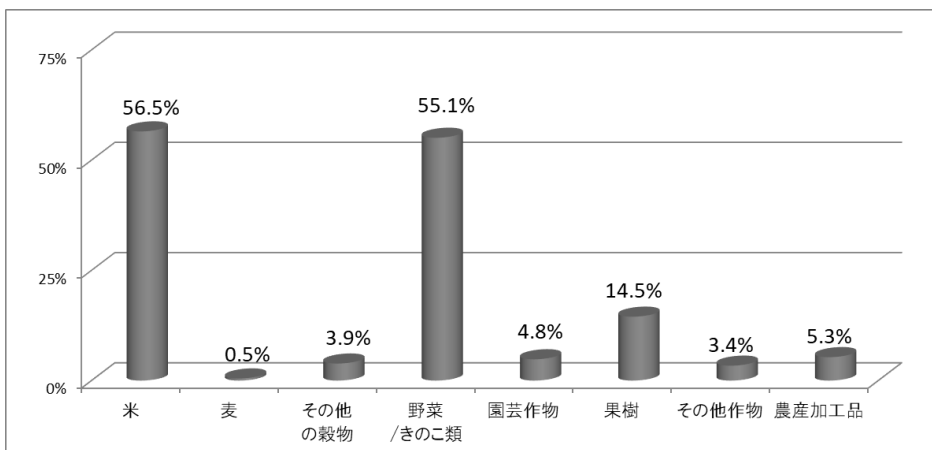
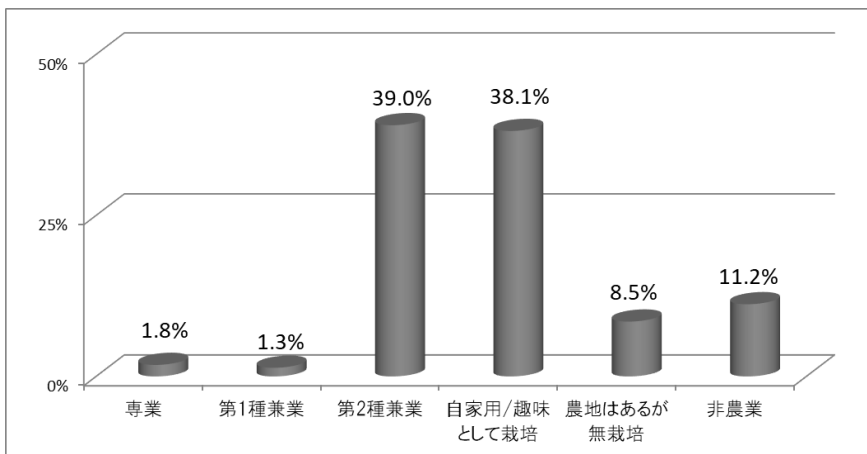
### [アンケートの配布と回収結果]

- ①一次調査：配布数438・回収数272・有効回答数246（有効回答率=56.2%）
- ②二次調査：送付数76・回収数32・有効回答数30（有効回答率=39.5%）

## ■一次調査の結果

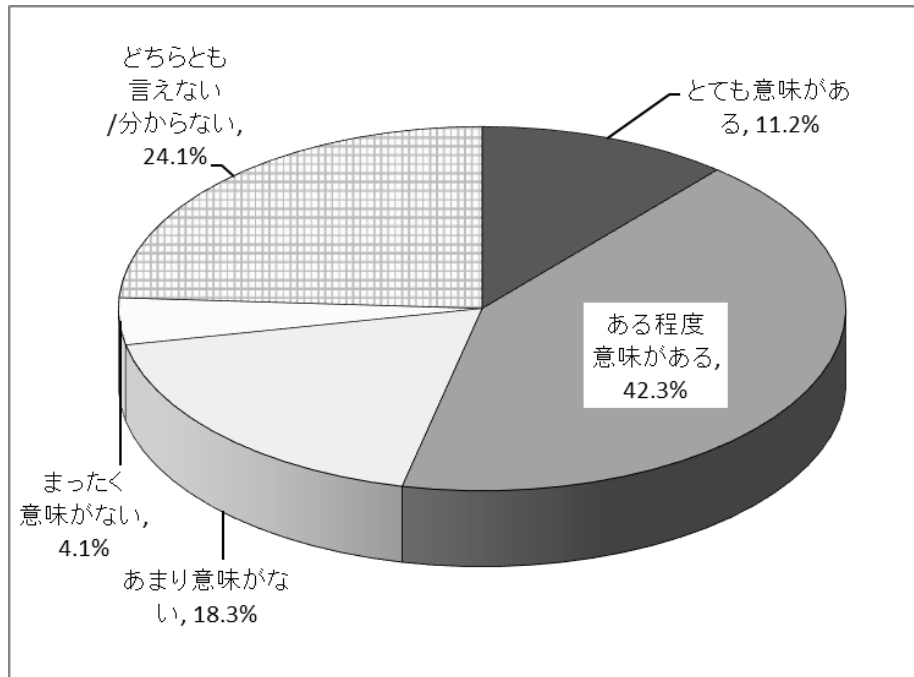
### 1. 営農状況と栽培作物

- 第2種兼業農家と、農地はあっても農業収入はない世帯が大半です
- 栽培作物は、米と野菜/きのこ類が中心です



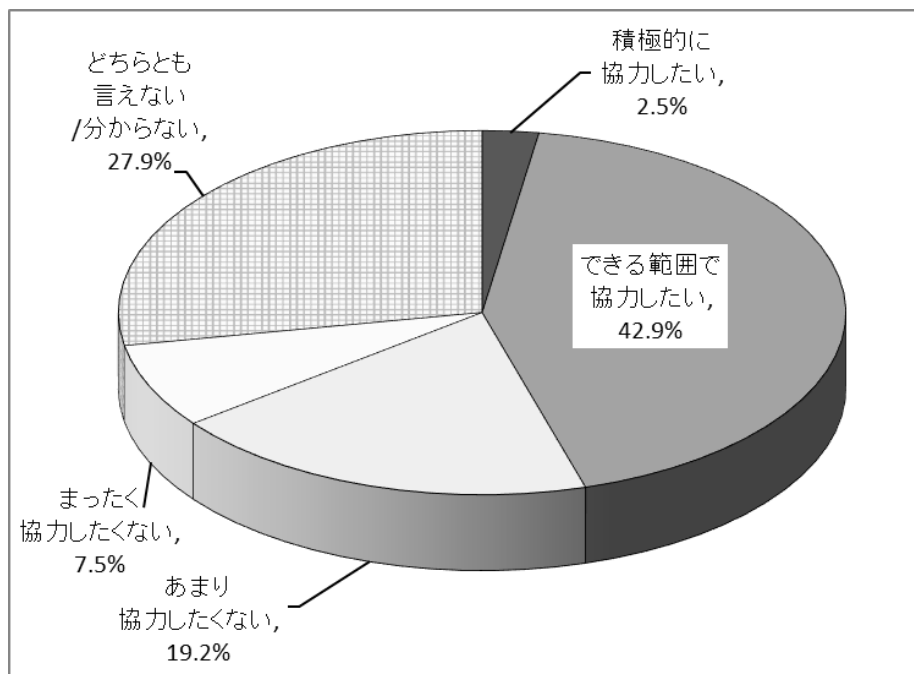
## 2. 中野方町にとっての「農泊」事業の意義評価

- 54%の世帯が事業の意義を認め、否定世帯は22%でした。24%は、「(今はまだ)どちらも言えない」としています
- 意義を認める理由では、この事業が、空家対策や移住促進、また経済や生活の活性化につながり、「中野方町の将来のためになる」が多くなっています。「このままでは衰退は避けられないのだから挑戦してみるべきだ」という意見もあります
- 否定の理由では、この事業のための態勢や人材への懸念(本当にできるのか、持続できるのか)、また(農泊よりも)U・ターン促進への取組みを優先すべきだなどが目立ちます。一部には、外部からの来訪者(が増えること)によるトラブルを心配する声もあります



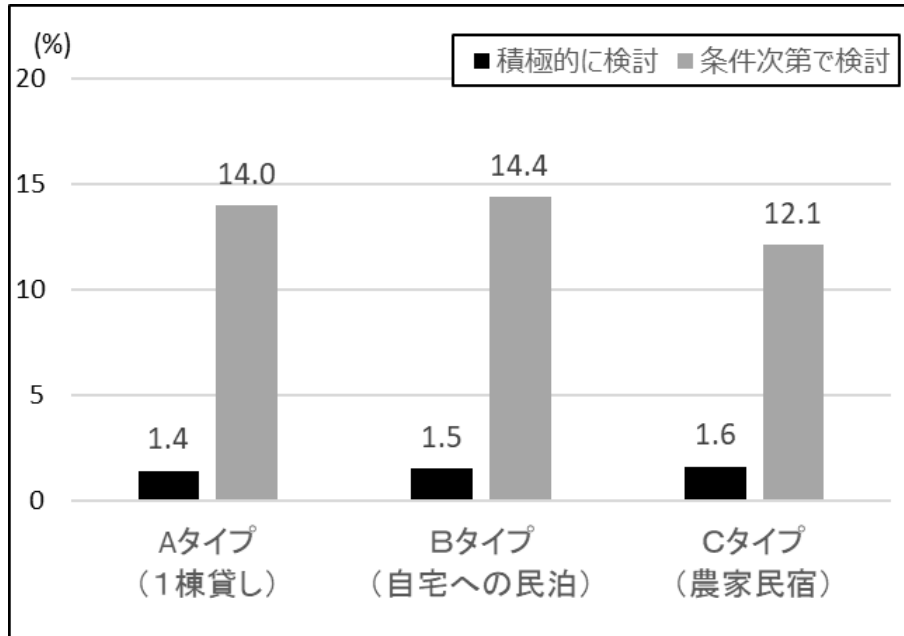
## 3. 「農泊」事業への協力意向

- 45%の世帯が協力する意向を示していますが、27%の世帯は協力する意向はないとし、28%が「(今はまだ)どちらも言えない」としています
- 協力意向の理由はもちろん、「中野方町の将来のため(になるから)」です。一方、非協力意向の理由では、世帯の事情(高齢や体調不良、介護、仕事、子育て中など)が中心で、事業自体を否定するものは多くありません
- 協力意向世帯の中に「積極的に協力したい」が少なく、「できる範囲で」が多くなっているのも、<協力したいが世帯の事情で協力できる内容や時間が限られている>と考える人が多いためです



#### 4. 「農泊」事業のための宿泊施設提供検討価値

- 「検討する価値がある」との回答は、3つのタイプのいずれも15%前後でしたが、その大部分は「条件次第だが」というものでした
- 「検討する価値がある」とする世帯では、来訪者を迎える意思はあっても、その接遇や改修等の資金、また現在の世帯の状況が不安材料のようです。それらが解消または緩和されることが検討の条件のようです
- 「検討する価値がない」とする世帯の大半は、活用できる土地や建物がない、資金がない、あるいは年齢(高齢)や世帯の事情(仕事や子育てなど)を理由にしています



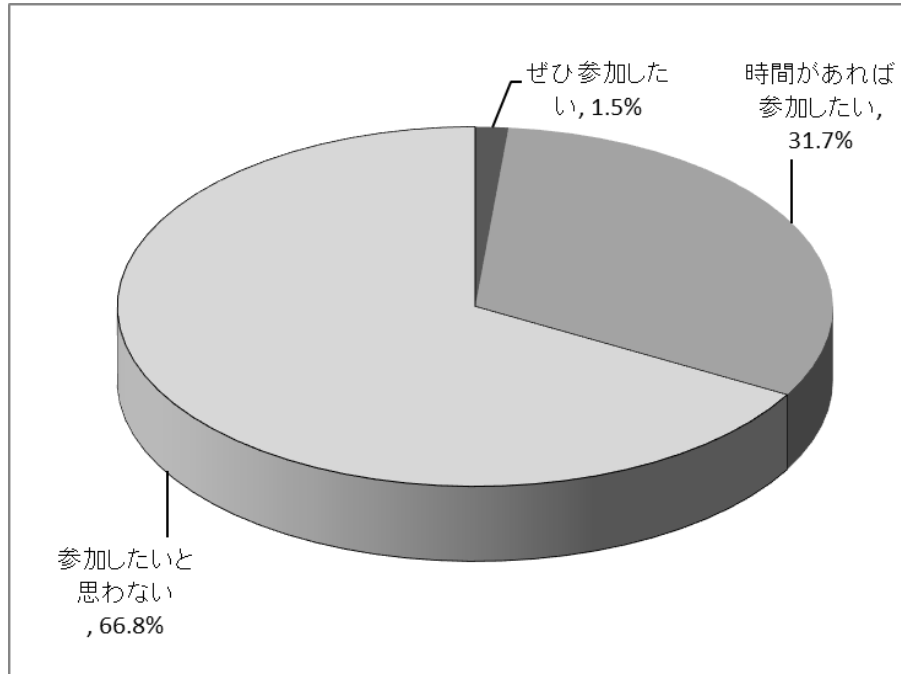
#### 5. 協力可能な体験プログラム (〇はいくつでも)

- 例示した15のプログラムのすべてに「協力できる」という世帯がありました。協力できるプログラムが「一つもない」世帯は5%だけでした
- 協力意向率のベスト3は、「農地や農機具の貸出し」、「農泊者の送迎」、「ハイキングやウォーキングの案内」です
- 15プログラムのうち、9プログラムに10%以上の協力意向率が示されました。上述の3で農泊事業への協力に消極的な回答をした世帯でも、ここでは協力できると回答しているケースも多くあります

プログラム	意向率	プログラム	意向率 (%)
農地や農機具等の貸し出し	34.2	食文化の体験機会提供	9.2
農泊者の送迎 (近距離)	30.0	林業の体験機会提供	7.5
ハイキング/ウォーキングの案内	20.0	中山道宿場巡りの案内	6.7
援農の受入れ	19.2	工芸品作りの体験機会提供	5.8
農業体験の指導	17.5	農産加工品作りの体験機会提供	5.0
地域の祭りへの招待やその際の接待	17.5	歴史/文化/郷土芸能の案内	4.2
名所/観光地の案内	14.2	その他	3.3
社寺/史跡/文化財の案内	13.3	一つもない	5.0
農泊者の自宅への招待	10.8		

## 6. 料理研究会（講習会）への参加意向

- 参加意向率は33%ですが、「ぜひ参加したい」は2%だけでした
- 参加意向の理由は、「(郷土)料理を学びたい」、「中野方には良い料理や食材がある(のだから)」、「料理の専門家の話を聞いてみたい」などです。飲食店を営む世帯からの協力申し出もありました
- 参加意向はあっても「時間があれば」としている世帯では、仕事や家族の世話で時間に制約があるようです
- 参加意向がない理由でも、「時間が取れない」ことが中心ですが、「年齢や身体上の理由で難しい」も目立ちます



## ■二次調査の結果

### 1. 「農泊」事業のための宿泊施設の提供内容

- Aタイプ(1棟貸し)には4件の意向が示され、すぐにでも利用可能な建物が3件ありました
- Bタイプ(民泊)には8件の意向が示され、2室～3室に4人～5人を迎え入れるという想定が多くなっています。5件では食事も提供できるとしています
- Cタイプ(農家民宿)には、5件の意向が示され、うち2件は外国人客の受入れにも意欲的です

### 2. 中野方町の郷土(伝統)料理 \*そう思うもの、農泊者に勧めたいもの。回答者の記入による

- 料理では、五平餅と朴葉寿司を筆頭に37品が挙げられました
- 食材・調味料では、山菜類を筆頭に19品が挙げられました

【料理】

品名	件数	品名	件数
五平 御幣)餅	16	栗きんとん	5
朴葉寿司	16	山菜料理	5
朴葉餅	12	自然薯汁	3
芋餅/芋ごね餅	12	その他の餅	3
麴漬け	10	栗きんとん菓子	2
からすみ	8	紫蘇料理/飲料	2
猪料理	6	饅頭	2
栗飯類	6	味噌	2
蜂料理	6		

【食材・調味料】

品名	件数
山菜類	10
味噌類	4
コンニャク	4
麴類	3
米類	3
猪	2
栗	2
ジビエ	2
蜂の子	2
みょうが	2

\*料理、食材、調味料とも、回答が2件以上あったもののみ記載

### 3. 「農泊」事業に便宜提供が可能な農地の有無 \*農業体験プログラム等への提供

- 水田と畑については4割、果樹園と山林については3割程度の世帯が、提供が可能としています

